

1. 基本情報

- (1) 国名：ラオス人民民主共和国（以下、「ラオス」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：首都ビエンチャン
- (3) 案件名：植物防疫・農作物品質検査所整備計画（The Project for Improving Plant Protection and Agricultural Product Quality Inspection Center）
- (4) 計画の要約：
本計画は、首都ビエンチャンの植物防疫・農作物品質検査所を国際規格水準を満たす検査施設として整備することにより、同検査所の生鮮農作物検査機能の充実と、市場に流通する農作物の安全性の向上を図り、ラオス産生鮮農作物の商業的生産及び輸出促進に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

ラオスはインドシナ半島の中央に位置し、周囲を東南アジア地域5か国に囲まれたメコン地域の要衝にあり、同国の安定と繁栄はASEANの一体性を確保し、地域全体の平和と繁栄を確保するために不可欠である。我が国はラオスと良好な関係を築いており、日・ラオス国交樹立70周年を迎える2025年、両国の関係が「包括的戦略的パートナーシップ」に引き上げられるなど、二国間関係は益々深化している。

我が国としては、2025年日・ラオス共同声明にて表明された「自律的で質の高い経済開発及び財政安定化に向けた協力」を同国の農作物の輸出強化を通じて具体化する。また、本計画により、日本を主要な輸出先とするラオス産農作物（コーヒー、ハトムギ、ショウガ、エシャロット、バナナ等）の検査が可能となり輸出が拡大することで、日本企業や消費者への裨益も期待される。

- (2) ラオスにおける農業セクターの課題及び本計画の位置付け

ラオスでは、労働人口の約7割が農林水産業に従事し、農業は生産額がGDPの約2割を占め（2021年、第9次国家社会経済開発計画（以下、「NSEDP9」という。）、電力、鉱業、観光分野に並ぶ外貨獲得源である。ラオス政府は、緊急的・優先的に取り組むべき指針を示した「国家アジェンダ2023」において、「輸入代替及び輸出向け商品生産の振興を通じた安定的な歳入基盤の確保」を重点事項の第一目標とし、また、ラオス農業林業省はNSEDP9の下で策定した「第9次農林農村開発計画」（2021年）の主要プログラムの一つに、国内取引及び輸出促進のための商品作物生産を掲げている。ラオスの農作物輸出は年々増加し2023年時点で農畜産物・食品が輸出額全体の21.8%を占めている（2024年JETRO）。

農作物輸出には、国際規格（ISO17025）を満たす施設環境での輸出先国の植物防疫法に基づく病害虫リスク分析や、食品衛生法に基づく微生物・残留農薬・重金属等の検査・分析が必要となる場合が多い。ラオスでは、生鮮農作物輸出にあ

たり、農業林業省傘下の植物防疫・農作物品質検査所（PPC）が上記の検査機能を果たすことが法令上定められている。しかし、PPC は施設設計が各検査に対応できておらず、また、換気・排水処理設備、バックアップ電源等の必要設備、薬品やガスボンベ等の適切な保管場所の欠如等、検査員の安全性や環境影響にも課題がある。PPC は国際規格（ISO17025）を満たしていないため、タイ、ベトナム、中国向けの輸出では、輸入国側で検査を行う協定となっているが、より多くの検査項目を求める欧州や日本向け輸出では、企業はタイ等の検査施設やラオス国内民間業者に検査を発注しており、高額な検査料を売価に上乗せする必要がある、国際市場での競争力が低下するほか、国外への検体送付に時間を要し出荷前に作物の品質悪化やロスが発生する。民間検査業者では検査できない項目もあり、輸出拡大の阻害要因となっている。

本計画は、首都ビエンチャンの PPC にて、植物検疫試験所の国際規格水準を満たす生鮮農作物の検査施設を整備することで、輸出に必要な検査を可能とし、商業的農業生産の拡大、輸出促進を図るものであり、ラオス政府の開発計画にて優先度の高い事業として位置付けられる。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

ア 計画内容：

ア) 施設、機材等の内容（詳細は協力準備調査にて確認する）

【施設】検査棟の新設（延床面積約 3,600 平方メートル）

【機材】換気設備、排水処理設備、分析用ガス供給・排ガス処理設備、局所排気設備、バックアップ電源、検査データ管理システム

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

詳細設計、入札補助、施工・調達監理。運営・維持管理に必要な技術指導。

イ 期待される開発効果：

年間当たり残留農薬検査・分析数（件）の増加（100（基準値）→500（目標値））により、ラオスの農作物の輸出企業にとって輸出に必要な検査の利便性が向上する。また、ラオス国内で流通する農作物の安全性向上、商業的農業生産の拡大、輸出促進への貢献が期待される。

ウ 計画実施機関／実施体制：農業林業省（MAF：Ministry of Agriculture and Forestry）（PPC の監督組織）

エ 他ドナーとの連携・役割分担：アジア開発銀行が PPC への検査機材・消耗品の提供、検査能力強化等の技術協力を予定しており、本計画にて整備する施設の効果的な活用・運用促進の相乗効果が見込まれる。

オ 運営／維持管理体制：本計画実施後の運営・維持管理は PPC が行う。

(2) その他特記事項：

- 環境社会配慮カテゴリ分類：C
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

平成 17 年度対チリ技術協力「食品安全国家プログラム強化プロジェクト」(事後評価：2011 年度)では、検査室の検査・分析能力の発展のために、適切な検査施設、機材、技術者の確保及び技術者に対する継続的な研修プログラムの実施が望ましいとされたことから、本計画では適切な検査施設・必要設備の整備を行い、ADB が検査機材導入、技術者能力向上を予定している。ADB との役割分担と連携により、包括的に検査施設・機材整備、技術者研修や運営・維持管理能力向上がなされるよう協力準備調査にて十分に議論・検討し、研修等を通じて検査能力・体制の強化を図る等必要な対応策を検討する。

以 上

[別添資料] 地図「植物防疫・農作物品質検査所整備計画」

地図「植物防疫・農作物品質検査所整備計画」



首都ビエンチャン



出典：United Nations

(<https://www.un.org/geospatial/content/laos-peoples-democratic-republic>) ,Google Maps (地図データ©2023 Google) より JICA 作成